

一級自動車工学科			2026年度 授業計画			
時 期	3年前期	単元	実習	教科名	工作	
科 目	工作作業	教科書等 持参品			発行日	2026年3月22日
総時限	17時限				教科 担当	國枝 真樹
必須時限	17時限					
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当						
自動車整備士として自動車整備全般の実務経験がある教員により自動車の電装修理に必要なはんだ付けや端子抜き工作物作成方法、実習車両のメンテナンスについて指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
1. はんだ付け作業を習得する。 2. 端子抜きを習得する。 3. 作業上の注意点を遵守する。 4. 故障診断で使用できる測定端子を制作する。 5. 24か月点検を実施し、実習車両をメンテナンスする。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）						
1. はんだ付け作業及び端子抜き作業の習得する。 2. 作業上の注意点を遵守して作業できる。 3. 設計図から正確に作品を作り、正確に作業することの大切さを理解する。 4. 24か月点検を復習し、車の構造、点検項目を再認識する。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
・実習履修試験で評価する。実習履修試験は作成した作品の出来栄で評価、筆記30分間で実施する。 実技試験70点と筆記試験30点の合計100点満点で評価する。 ・合格点：70点以上 80点以上：優 70点以上：良 70点未満：不可 ・不合格の場合、再試験を受験し、70点以上で合格とみなす。 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。						
5. 準備学習						
制作物の設計図を確認する。 はんだ講座を確認する。						

一級自動車工学科				2026年度 授業計画			
時 期	3年前期	単元	実習	教科名	工作		
5. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					6. 教科書、資料、備品類		
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量	
1	はんだ付け作業の基礎				オリジナル資料「はんだ講座」	学生分	
2	はんだ付け作業の基礎 フラックスについて				はんだ	1	
3	はんだ付け作業の温度管理 配線処理について				はんだごて	18	
4	配線処理について ポール盤の使用法、注意点の説明				車両ハーネス	適量	
5	測定端子の製作 配線、電子基盤へのはんだ付け作業ハーネスコネクタからの端子抜き				電子基盤	18	
6	測定端子の製作 配線、電子基盤へのはんだ付け作業ハーネスコネクタからの端子抜き				端子抜き工具	10	
7	測定端子の製作 配線、電子基盤へのはんだ付け作業ハーネスコネクタからの端子抜き				工作部材	18	
8	測定端子の製作 配線、電子基盤へのはんだ付け作業ハーネスコネクタからの端子抜き				やすり	4	
9	測定端子の製作 配線、電子基盤へのはんだ付け作業ハーネスコネクタからの端子抜き				ペーパーやすり	適量	
10	測定端子の製作 配線、電子基盤へのはんだ付け作業ハーネスコネクタからの端子抜き						
11	測定端子の製作 配線、電子基盤へのはんだ付け作業ハーネスコネクタからの端子抜き						
12	測定端子の製作 配線、電子基盤へのはんだ付け作業ハーネスコネクタからの端子抜き						
13	測定端子の製作 配線、電子基盤へのはんだ付け作業ハーネスコネクタからの端子抜き						
14	測定端子の製作 配線、電子基盤へのはんだ付け作業ハーネスコネクタからの端子抜き						
15	測定端子の製作 配線、電子基盤へのはんだ付け作業ハーネスコネクタからの端子抜き						
16	測定端子の製作 配線、電子基盤へのはんだ付け作業ハーネスコネクタからの端子抜き						
17	期末試験						
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							